

まきびと

2019年 社会福祉法人
クリスマス号 牧人会

961-8061 福島県西白河郡西郷村 TEL 0248-25-2046
小田倉字上上野原 158 番地1 FAX 0248-25-3776
振替口座 02160-6-244

クリスマスを迎えるとき、当会の計画と事業活動をご支援ください。



『きよし このよる』白河めぐみ学園・白河こひつじ学園のクリスマス礼拝



福祉施設用地内は国が規定する安全基準内。除染廃棄物は同一村内に仮置



ホーム須賀川「笹平」(丸印) 床上浸水 1.5 m の被害。利用者 4 名は避難生活中



村内に除染廃棄物仮置場がある児童発達支援センター「まきびと」利用児童と職員

放射能・台風被害を受けている地域社会に貢献する、福祉支援サービス提供を拡充推進していきます。 理事長 山下 勝弘

クリスマスの挨拶とともに、当会の今年度事業活動内容を報告いたします。

当会が働きを展開する福祉現場は原発事故による放射能被爆、また台風 19 号被害を受けた地域です。2019 年度事業は、この地域社会に貢献できる福祉サービス提供を可能にする以下の事業計画を重点的に継続して実施しています。

1、幼児から高齢者までの安全な福祉環境の実現する活動の推進

原発事故による放射能被害は、満 8 年が経過した現在、被爆地に所在する当会が運営する幼児療育施設「白河まきびとセンター」、児童入所施設「白河めぐみ学園」、同「白河こひつじ学園」用地内の放射線量は国の定めた安全基準値内に

なりました。しかし除染作業で発生した汚染土等の除染廃棄物は同じ村内の仮置場に大半が保管されている現状で、幼児や児童、また住民にとって安全な福祉環境ではありません。その中で、原発事故問題風化が課題です。安全な福祉環境の実現を目的にした活動を推進します。

2、台風 19 号被害による福祉的ニーズに応える福祉支援活動の展開

当会が福祉支援活動を展開する福島県は台風 19 号の被災地で、当会の運営するホーム須賀川「笹平」も床上浸水 1.5 m に達し居住不能の現状です。利用者の家族、地域内に被災障がい者・家族も多く、これらの緊急援助を必要とする人達を支援する福祉支援活動を強化します。

3、キリスト教会と連帯した地域に貢献する福祉活動の実施

閉園するキリスト教会付属幼稚園の働きを継承し、2018 年 4 月に宮城県石巻市に開設した「栄光まきびと園」は、着実に幼児・児童の療育活動を展開し、地域社会の信頼に答えています。

当会は今年度も、キリスト教会と連帯して、地域社会に生活する人々と共生する具体的な活動を推進します。

クリスマスを迎えるとき、ご理解とご支援を心からお願いいたします。

当会は 1971 年に設立され、現在、15 種別 65 事業を福島県、山形県、宮城県内 11 市町村で実施し、福祉の現場でキリスト教会と地域社会の信頼と委託に答えています。

2019 年のクリスマス、また 2020 年を迎える時、心からの感謝をこめて 2019 年度の当会の活動内容を報告し、みなさまに一層のご理解とご支援をお願いいたします。



台風19号被害、床上浸水1.5mに到達 ■ ホーム笹平 (須賀川市) 居住不能 ■

2019年10月に発生した台風19号で、当会が福島県須賀川市で運営する3グループホームの中の「ホーム笹平」が床上浸水1.5mの被害を受けました。利用者4名は事前に避難をして無事でしたが、現在も再居住可能の見通しはありません。今後の対応を検討しています。

また、山形県上山市で運営している障がい者支援施設「山形育成園」(定員50名)も、避難指示を受け、全員が避難所へ避難をし1泊しました。当会として災害対策を強化すると共に、災害発生後の地域社会に必要な被災障がい者一時入所等の福祉支援機能の強化を、今後の課題として検討し、具体的な準備を開始します。

重要性の高まる相談支援事業 基幹相談センター業務も2地域で担当

当会では相談支援業務を福島県内で4地域、山形県内で2地域に事業所を設置して、専従職員は14名で地域社会に生活する援助を必要とする人達を支援しています。

幼児から高齢者まで、その家族の支援を含めて多様な内容に応じて、24時間体制で活動し、全体の年間相談件数は1万件を超えています。

これまで福島県あだち地域相談支援センターあだちは基幹相談センターとして他の相談機関を支援する活動も展開してきましたが、今年度から福島県東白川地域相談支援センターはなわも基幹相談センター業務を開始しています。

社会福祉充実計画実施にも影響 遅滞する設備・建物改修工事

今回の台風被害は、当会の社会福祉充実計画実施に悪影響を与えています。

当会が設置運営する福祉施設の多くが新築整備後の経年経過で、設備・建物の老朽化が見られ、社会福祉充実計画と関連して、整備・改修工事が計画されていました。

障がい者支援施設「あだち育成園」旧園舎改修工事、同「山形育成園」大型給湯ボイラー、同「はなわ育成園」浄化槽設備等です。これまでも建設業界の現状が影響して、工事実施が遅滞していましたが、今回の台風被害で、さらにこれらの実施が遅滞する状況が予想されます。

自己選択・自己決定への挑戦 身近な経験から地域生活適応へ

当会の運営する福祉施設では、利用者の自治会組織があって、役員の選挙が実施されています。

障がい者支援施設「はなわ育成園」でも、利用者自治会長の選挙が行われました。この選挙への参加が、利用者自身が自分で考えて選択し、決定する経験を育てる機会になり、将来地域生活を開始したときに、もっとも重要で必要な能力であり経験になります。

利用者全員が、この選挙に真剣に取り組んでいました。



20歳からの出発に支援を！ 貧弱な地域生活を可能にする環境備

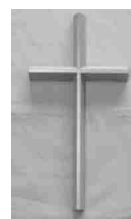
白河めぐみ学園・白河こひつじ学園で生活している児童は、満20歳を迎えるまでには退園することが規定されています。今年度になって両学園から4名が退園し、新生活を開始しました。

しかし成人として生活を開始する環境は、残念ながら貧弱で、希望する生活の場所を確保することは困難な現実です。

家庭復帰、グループホーム入居、支援施設入所であれ、誰もが自分の「希望する場所」で「希望する生活」が選択できる環境整備と支援の強化が課題です。

当会でも、この支援対策強化のを目的に、特に必要な地域にグループホームと社会参加と就労可能な場所を確保の活動を推進しています。

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で 当会の木工製産製品を、ご利用ください



当会の関係福祉施設のユニークな製品に、木工製品があります。これらの製品は、仙台市にある日本キリスト教団東北教区センター「エマオ」でも、常設展示されています。

木工製品は、各種「十字架」を始めとするキリスト教会用家具、用品、高品質の各種積木、木製玩具その他木馬、幼児用机・椅子、福祉施設用家具などが中心です。



詳細は当会のホーム・ページをご参照ください。ぜひご用命、ご利用ください。

写真左上「十字架」。写真上 高品質で、好評な受注製品「保育園・幼稚園児用テーブル・椅子」。その他、長期間のベスト・セラー製品の各種「木製積木」「木製玩具」も、教会バザー等でご利用ください。

牧人会後援会にご参加ください

感謝と報告

後援会会長 定家 修身

牧人会後援会は1971(昭和46)年に社会福祉法人牧人会設立とともに正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動の目的と内容は、社会福祉法人牧人会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。

2018年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額

は4,421,727円で、これは個人会員と団体会員をあわせて486会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、3,500,000円を2018年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2018年度は特に、社会福祉法人牧人会が実施した社会福祉充実計画関係の老朽建物、設備更新整備、研修事業、新規事業調査等を中心に支援をしました。

2019年度も引き続きみなさまのご理解、ご加勢、ご配慮と共に、いっそうの後援会活動へのご参加とご支援を、クリスマスを迎える時、心からお願いいたします。

(協賛広告)

白河めぐみ学園
Tel 0248-25-2046

白河こひつじ学園
Tel 0248-25-2055

あだち育成園
Tel 0243-48-3111

須賀川共済育成園
Tel 0248-76-4155

あだち共済育成園
Tel 0243-48-3113

はなわ育成園
Tel 0247-43-3891

山形ひかり学園
Tel 023-672-2377

寒河江共済育成園
Tel 0237-86-7625

山形育成園
Tel 023-673-2575

すぎのこ園
Tel 0247-43-4391

児童発達支援センターまきびと
Tel 0248-25-0869

泉崎村障がい者支援センター
Tel 0248-53-3618

発達支援センターあだち
Tel 0243-22-2800

相談支援センターこひつじ
Tel 0248-25-2055

まきびとの家
Tel 0248-25-2046

木工製品のご相談は 須賀川共済育成園 電話 0248-76-4155 あだち共済育成園 電話 0243-48-3113 寒河江共済育成園 電話 0237-86-7625